

40年超えの美浜原発3号の再稼働

* 早期に同意していいのでしょうか

* 事故が起これば避難はできるのでしょうか

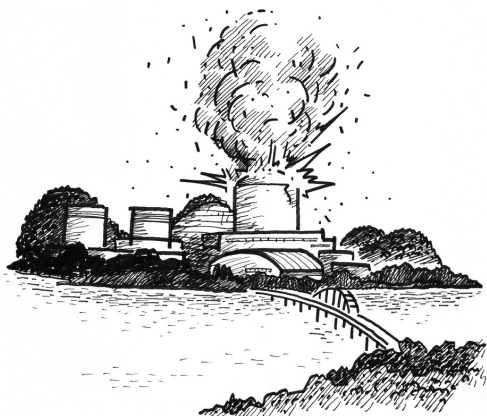
再稼働の判断は、慎重にも慎重を期してください

美浜町の皆さまへ

関西電力や国は、来年1月にも美浜3号を再稼働しようとしています。40年超の原発の運転は、美浜原発3号が国内で初めてとなります。古い原発は、重要な機器である原子炉容器や電気ケーブルの取替はできず、配管も劣化して安全性に問題があります。



しかし原子力規制委員会は、審査基準に合格したことを確認するだけです。「事故は起きないとか、安全だとは言いません」と述べています。



福島原発事故からもうすぐ10年になります。多くの住民がふる里を追われ、戻ることもできません。それでも東京電力と国は、事故の責任を認めていません。

事故が起きたときに、避難できるのでしょうか。このチラシを読んでいただき、町の皆さんと、議員さんと話し合ってください。そして、役場に声を届けてください。子や孫たち、住民の安全が一番です。再稼働の判断は、慎重にも慎重を期してください。

福島原発事故の避難者からの手紙

こんにちは。わたしは浪江町から関西に避難しています。家は原発から西に27km離れていました。東夕立来ることないと言われ、東にある原発からの放射性物質は飛んでこないと思っていました。が、結果は年間50シーベルト以上被ばくする帰還困難区域となりました。

原発がある限り、いつ皆様がわたしと同じことになっても不思議はありません。ご先祖が切り開いてきた田畑は汚染され、家も野山も汚染まみれ。今は猪と猿の住処です。

避難の老後が来るなど夢にも思っていませんでした。自然災害と違い戻れることは出来ないのです。山は除染不可能です。雨が降れば、山から放射性物質が流れ出します。雪解け水も同じです。丹精込めた田畑、花壇の花々、盆栽全てが汚染されてしまったのです。犬は血を吐いて死にました。こんな暮らしにならないよう今なら間に合います。原発止めても廃炉で仕事はあります。どうかお考え下さい。

事故の時は、どこに避難するの？

◇避難先の一つは、原発立地のおおい町です

おおい町は、町の住民より多い美浜町住民を受け入れます
避難は本当に可能でしょうか

町の避難計画（2020年4月改定）では、美浜町の皆さんの避難先は、おおい町と大野市の二か所となっています。風向きによって、どちらか一方に避難することになっています。他の嶺南地域の自治体は、兵庫県にも避難先がありますが、美浜町は県内避難先だけです。

原発のあるおおい町に避難できるでしょうか。若狭湾の地震により美浜3号で事故が起こるときは、同時に大飯原発もその地震の影響を受ける恐れがあります。その時に風が大野市側に吹いていれば、大野市にも、おおい町にも避難することはできなくなります。この計画で、町の皆さんの安全を守ることはできるでしょうか。

おおい町は住民約8,100名の町です。町の計画では、おおい町の人口より多い約9,300名の美浜町の皆さんが避難することになっています。おおい町で準備されている避難所は、わずか10か所の学校体育館等しかありません。

施設の入所者や、在宅で介護が必要な高齢者等は避難できるの？

◇施設入所者の避難先の一つは高浜町。家族と別の町に避難



福島原発事故では、障がい者や在宅の高齢者の皆さんの避難が遅れ、取り残されました。町では、避難手段は確保されているのでしょうか。町の計画では、自宅で療養している方や、介護が必要な高齢者の避難先は、おおい町の福祉施設「いきいき長寿村」だけです。大飯原発でも事故が起これば、避難できません。

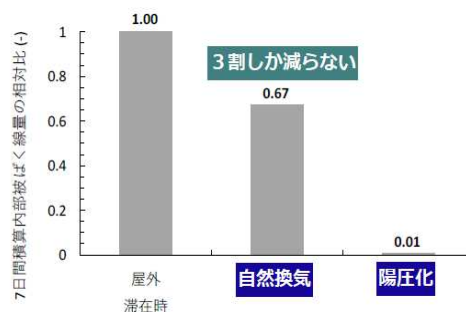
また、施設入所者の避難先は、おおい町・大野市に加えて、高浜町の施設も上がっています。家族と別の町に避難するのでしょうか。

屋内退避で被ばくは防げるの？

◇一般の民家では、内部被ばくは3割程しか低減しません

政府は「屋内退避が安全への第1歩」として、屋内退避で被ばくを防げるといいます。内閣府が3月に出した報告書^{※1}では、放射性ヨウ素等による内部被ばくの場合、放射線防護対策（陽圧化）をした施設では、99.99%被ばくを低減できるといいます。

しかし、防護対策がない場合、気密性が非常に高い家屋でも、屋外と比べて3割しか低減しないという結果が出ています。木造家屋では効果はさらに低いと思われます。被ばくは避けられません。[図中の「自然換気」とは、放射線防護対策のない通常の家屋で、窓を閉めた状態です]



※1「原子力災害発生時の防災措置－放射線防護対策が講じられた施設等への屋内退避－について」[暫定版]

コロナ禍の避難では、「密を避ける」ことはできるの？

避難所の数は足りているの？

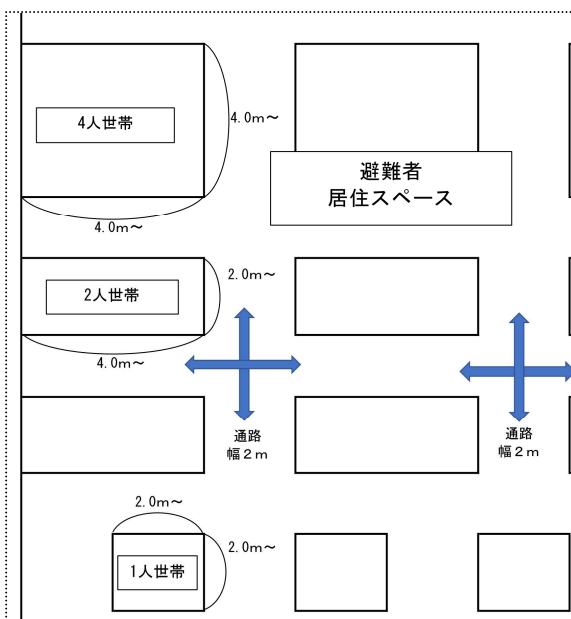
◇避難所は足りません

「一人分のスペース4m²に、家族4人で入ってもらうこともある」

通常の原因事故時の避難スペースは、一人約3.3m²です。隣の人との間にそれぞれ通路を設定することはありません。しかし、感染症対策では、「三密を避ける」必要があります。そのため、福井県は今年5月に、避難所の感染症対策等の手引き^{※2}を作りました。下図のように、コロナ禍では、一人分の避難スペースは4m²(2m×2m)と増えています。そして、前後左右に2mの通路を設けるように決められています。濃厚接触者用のスペースも別に設置するように求めています。

「密」にならないように、通路も確保しなければならないため、一人当たりのスペースは、通常の原因事故時より2倍近くの面積が必要になります。

私たちは10月22日におおい町に申し入れに行き、避難所の数は足りているのか等を尋ねました。おおい町担当者の回答は、「避難所の数等は検討する必要がある」とのことでした。また、避難所が足りない場合は「一人分のスペース4m²に、家族4人で入ってもらうこともある」と答えています。一人1m²しかありません。畳であれば一畳分より狭く、横になって寝ることさえまなりません。



と答えています。一人1m²しかありません。畳であれば一畳分より狭く、横になって寝ることさえまなりません。

感染症対策のためには、避難スペースをゆったりとる必要があります。そうすると、避難所は2倍程必要になります。どこの市町もその準備はできていません。おおい町も同じです。

感染症対策と避難は両立するのでしょうか。冬に向けて、感染症の拡大が心配されます。じっくり話し合う必要があるのではないのでしょうか。

※2「新型コロナウイルスに備えた避難所運営の手引き（概要版）」（福井県2020年5月）



福島原発事故の時の避難所（写真：福島県浪江町）

安定ヨウ素剤はどこにあるの？

◇役場で備蓄しているだけです

福島原発事故では、子どもたちが放射性ヨウ素に被ばくし、甲状腺がんを発症しています（福島県内だけで、がんの確定と疑いを含め 240 名）。甲状腺がんを防ぐためには、安定ヨウ素剤を早期に服用しなければなりません。しかし、美浜町では役場で備蓄しているだけです。

避難時に、一時集合場所で問診をしてヨウ素剤を受け取っては時間がかかってしまいます。大雪や土砂災害等が重なり地区が孤立すれば、一時集合場所に運ぶこともできません。

原発から 5 km 圏外では、放射能が放出された中を避難することになっています^{※3}。早期に服用しなければ効果はなくなります。

30km 圏内住民に、事前に配布している自治体もあります。環境大臣は、30km 圏内での事前配布を認めています。子どもたちを守るため、事前に配布する必要があるのではないのでしょうか。

安定ヨウ素剤の服用時期	効果
放射性ヨウ素にさらされる24時間前	90%以上の抑制効果
放射性ヨウ素を吸入した8時間後	40%の抑制効果
放射性ヨウ素を吸入した24時間後	7%の抑制効果

日本医師会「原子力災害における安定ヨウ素剤服用ガイドブック」より

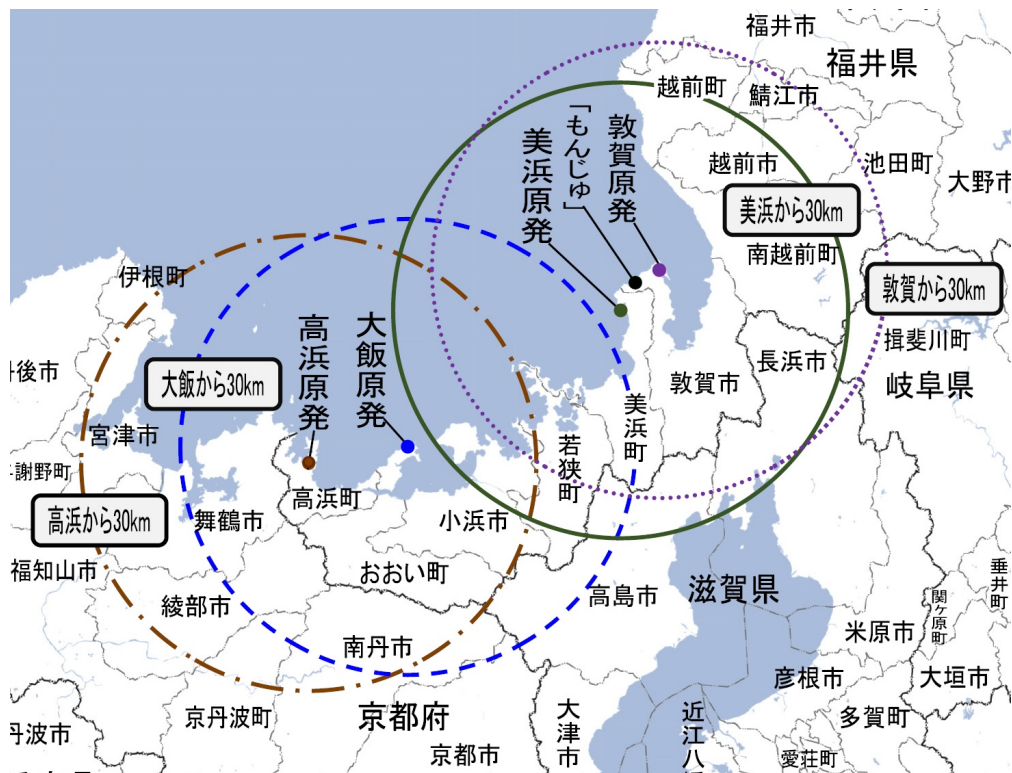
※3 国が決めている避難の基準：高濃度の放射能の中を避難することになっています。

即時避難：毎時 500 マイクロシーベルト（平時の約 1 万倍）。

1 週間以内の避難：毎時 20 マイクロシーベルト（平時の約 400 倍）。

*若狭の原発で事故が起これば、地元はもとより関西にも深刻な影響が及びます。

*関西1400万人の命の水源である琵琶湖も汚染されます。



ふるさとを守る高浜・おおいの会
安全なふる里を大切にする会
避難計画を案ずる関西連絡会

2020. 11. 1

イラスト：高木章次